

核構造データ・サブワーキング・グループ会合

日 時 昭和56年3月25日(水)

3月26日(木)

場 所 日本原子力研究所 東海研

出席者 喜多尾(放医研), 神戸(東工大), 松本(原研)

議 題

1. $A = 128$ の核構造データの評価とファイルの作成作業

a) ^{128}Xe , ^{128}Cs , ^{128}Ba については Adopted Levels も含めてほぼファイルが完成した。 ^{128}Cs から ^{128}Xe への電子捕獲崩壊, β^+ 崩壊の分岐比の再評価について神戸から説明がなされた。

b) ^{128}I については (n, γ) の評価作業が行われた。

c) ^{128}Sn , ^{128}Sb , ^{128}Te , ^{128}I の反応データおよび Adopted Levels のファイル作成については, 更に作業を継続する。

2. 今後の作業計画について議論を行い, 5月10日頃を目標に $A = 128$ のファイル作成を終え, 他の評価グループメンバーによる検討にまわすようにすること, および連休前後に次回の会合を持つことを決めた。